

第1号報告 令和4年度事業報告

I 法人運営の状況

1 理事会の開催

(1) 令和4年度第1回理事会

- | | |
|------|---|
| 開催日 | 令和4年5月26日 |
| 開催場所 | 地域支援センターほっと3階 地域交流室たち |
| 審議事項 | <ul style="list-style-type: none">・ 令和3年度事業報告（案）について・ 令和3年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について
(監事の監査報告)・ 諸規程の一部改正（案）について・ 役員候補者の推薦について・ 事務局長の任命について・ 令和4年度定時評議員会の招集について |

(2) 令和4年度第2回理事会

- | | |
|------|--|
| 開催日 | 令和4年6月16日 |
| 開催場所 | 地域支援センターほっと3階 地域交流室たち |
| 審議事項 | <ul style="list-style-type: none">・ 第1回補正予算（案）について・ 諸規程の一部改正（案）について・ 常務理事の選定について・ 地域支援センターほっと所長の任命について・ 令和5年度賞与に係る取り決めについて |

(3) 令和4年度第3回理事会

- | | |
|------|---|
| 開催日 | 令和4年7月27日 |
| 開催場所 | 決議の省略により開催 |
| 審議事項 | <ul style="list-style-type: none">・ 諸規程の一部改正（案）について |

(4) 令和4年度第4回理事会

- | | |
|------|---|
| 開催日 | 令和4年8月31日 |
| 開催場所 | 決議の省略により開催 |
| 審議事項 | <ul style="list-style-type: none">・ 諸規程の一部改正（案）について・ 令和4年度第2回評議員会の招集について |

(5) 令和4年度第5回理事会

- | | |
|------|--|
| 開催日 | 令和4年11月24日 |
| 開催場所 | 地域支援センターほっと3階 地域交流室たち |
| 審議事項 | <ul style="list-style-type: none">・ 諸規程の一部改正等（案）について・ 令和4年12月賞与について |

(6) 令和4年度第6回理事会

開催日 令和5年2月28日
開催場所 決議の省略により開催
審議事項 ・身体拘束等適正化のための指針(案)について

(7) 令和4年度第7回理事会

開催日 令和5年3月16日
開催場所 地域支援センターほっと3階 地域交流室たち
審議事項 ・令和4年度第2回補正予算について
・令和5年度事業計画について
・令和5年度当初予算について
・諸規程の一部改正について
・施設長の任命について
・定年を適用しない職員の継続雇用について

2 評議員会の開催

(1) 令和4年度定時評議員会

開催日 令和4年6月16日
開催場所 地域支援センターほっと3階 地域交流室たち
審議事項 ・令和3年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について
・役員の選任(案)について
・役員報酬規則の一部改正(案)について

(2) 令和4年度第2回評議員会

開催日 令和4年11月24日
開催場所 地域支援センターほっと3階 地域交流室たち
審議事項 審議事項なし

3 監事の監査

(1) 決算監査

年月日 令和4年5月16日
場 所 別府発達医療センター 会議室
内 容 ・令和3年度業務の執行状況及び財産の状況

(2) 中間監査

年月日 令和4年11月28日
場 所 別府発達医療センター 会議室
内 容 ・令和4年度上半期の業務の執行状況及び財産の状況

4 役員の選任等

(1)施設長の交代に伴い、次の方が退任した。

氏 名	退 任 年 月 日	備 考
首 藤 辰 也	令和4年6月30日	退任 理事 地域支援センターほっと所長

(2)次の方が常務理事を退任した。

氏 名	退 任 年 月 日	備 考
江 藤 敏 博	令和4年6月30日	退任 常務理事 別府発達医療センター事務局長

(3)次のとおり常務理事を委嘱した。

氏 名	委 嘱 年 月 日	備 考
森 山 成 夫	令和4年7月1日	新任 常務理事 前 大分県会計管理者 兼 会計管理局长 (任期:令和5年度定時評議員会)

5 運営協議会の開催

地域の代表者や利用者又は利用者の家族の代表者等の意見を聴き法人運営に反映させることを目的に年2回開催した。

委員からは、新型コロナウイルス感染症対策や入所利用者の面会制限に対するご家族の反応、コロナ禍を原因とする減収の影響、勤怠管理等のシステム化への取り組み、電子カルテ導入の効果、ノーリフティングケア、コロナ禍での施設内行事の開催の工夫等、多岐にわたる貴重なご意見をいただくことができ、次年度の事業計画・行事計画に反映させるなど、今後の法人・施設運営にとって貴重な機会となった。

運営協議会 委員名簿(令和5年3月31日現在)

氏 名	職 業 等
委員長 松宮 健太郎	別府市鶴見町自治会 会長
委 員 立川 敬子	別府発達医療センターボランティアの会 代表
委 員 山内 毅重	大分県立別府支援学校鶴見校 副校長
委 員 椋野 摂子	大分銀行鶴見支店 支店長
委 員 中島 なぎさ	利用者家族代表
委 員 前之園 和子	利用者家族代表

(1) 第1回運営協議会

開催日 令和4年7月8日(金)

審議事項 ①令和3年度事業報告
②令和3年度年間行事報告

(2) 第2回運営協議会

開催日 令和5年2月21日(火)

審議事項 ①令和4年度運営状況報告
②令和5年度法人事業計画案
③令和5年度年間行事計画案

Ⅱ 法人事業の概要

令和4年度は新型コロナウイルス感染症のまん延のため、引き続き施設内にウイルスを持ち込まないことを最大の目標として感染防止対策をおこなってきたが、別府発達医療センターめじろ園において第7波(7月)と第8波(12月)にクラスター発生した。

クラスター発生時は感染区域勤務者の感染も多発し、大分療育センターを含め法人あげての応援職員の確保を行ったほか、常時、職員や職員家族の感染が多発するなど、職員にとってコロナ禍の中で最も負担の大きい1年となった。また、各施設・事業所もクラスターの発生や職員の感染に伴う感染拡大防止のための事業の停止や縮小を行ったため、収益を伸ばせず、非常に厳しい運営を強いられた。

- ・職員の感染、職員家族の感染等による特別休暇日数
延べ1,564日(対前年937.5日増)

クラスターへの対応状況を踏まえ、今後の危機対策が機動的に実施できるよう事業継続計画(BCP)の見直しを行った。

院内感染発生防止のためにBCPの発動を可能とし、BCPを迅速に改正できるよう所管及び改正手続きの変更及び危機管理対策本部の役割・権限を整理した。

また各施設・事業所・部門における事業継続マニュアル作成と職員への周知・啓発を規定し、マニュアル作成に取り掛かった。

少子高齢化や人口減少の急速な進行に加え、世界的な新型コロナウイルス感染症のまん延やロシアによるウクライナ進攻等の影響により、原材料価格や燃料費、物流費などが高騰している。こうした厳しい社会経済情勢の中で利用者ニーズの変化等が今後の各施設・事業所にどのような影響を与えるか、どのような方向性をもって組織体制を再構築するのか検討を進めていく必要がある。

そのため、当初の重点目標に加え業・財務改革方針を定めたうえで、各施設・事業所及び部門の現状を評価し、赤字となっている原因の詳細分析を行い、法人すべての施設・事業所及び部門において徹底した業・財務の改革を行い、単年度収支の改善を図ることとした。

(重点目標)

1 利用者の安全確保とサービスの質の向上

(1) 職場におけるこまめなOJTの推進

個別支援計画の作成や利用者・家族に対する計画の説明、支援内容に関連する関係機関との連絡調整等の業務を通じて、サービス管理責任者・児童発達管理責任者の育成を推進した。

(2) ノーリフティングケアによる利用者、職員に優しいケアの促進

- ① 介護リフトシステムの導入 地域支援センターほっと
設置場所 静養室、浴室・脱衣室、トイレ2か所
事業費 システム一式 1,530万円

- ② 床走行式リフトの追加 別府整肢園、めじろ園各1台
事業費 合計 140万円

リフトを使用することにより介護方法が統一され、利用者から安心できるようになったとの意見があった。また、介護関係業務を行う上での身体的負担が軽減し、職員からの腰痛の訴えが減少した。

(3) 感染防止対策の継続的实施とコロナ禍を前提とした療育の充実

施設内にウイルスを持ち込まないために、引き続き入所児者の外泊の中止、外出・面会の制限、入所児者・職員のワクチン接種、遺伝子検査や抗原検査を継続した。
今年度は県内の感染状況を見て入所児者の外出を実施することができた。

(4) 虐待防止研修等への積極的参加

身体拘束廃止・虐待防止委員会において「身体拘束等適正化のための指針」を検討し、制定・施行した。

これにあわせ、外部研修「大分県障がい者虐待防止・権利擁護研修」を職員に受講させ、伝達講習を行った。また外部講師を招聘し身体拘束・虐待防止研修を開催した。

2 電子カルテ導入後の円滑な運用、事務処理分野の効率化推進

(1) 各部署間の連携を円滑化し、電子カルテの有効活用を図る

電子カルテの運用方法の統一化やより効果的な活用について、定期的に関係部署間で検討を行った。

またサイバー攻撃により電子カルテが使用できず診療停止する医療機関が増加したことを受け、電子カルテに障害が発生した際のマニュアルの策定を開始した。

(2) 医療分野以外における業務の効率化を進め事務的作業の負担軽減を図る

10月1日より、年次有給休暇など一部の休暇の手続き、時間外・休日勤務命令をオンライン申請・承認システムへ移行した。

また、令和5年4月1日よりすべての休暇の手続き、給与に関する各種手当の届出手続きについてオンライン申請へ移行するため、関係規則の改正を行った。

3 整肢園の今後の在り方を中心とするセンターの将来構想の検討

(1) 医療型障がい児入所施設を主とする「別府整肢園」のサービス定員の見直しを行い、療養介護事業所を主とする「めじろ園」の間での定員変更の必要性についての検討は次期中期経営計画の策定まで継続して行うこととした。

事務局に経営企画室を設置し、検討の準備としての各施設・事業所及び部門の現状の把握と評価を行った。

4 コロナ禍における職員の職務意欲向上

(1) 県外での研修会等への参加が困難な中、オンラインによる研修参加を促進し、各施設・事業所及び部門より63件の参加があった。

5 所属を超えた情報共有の促進と職員のモチベーション向上

(1) すべての施設・事業所及び部門における業務、財務及び組織体制について業・財務の見直しを実施することで個別事業の在り方を検討した。

(2) 業・財務改革職員提案を募集し、職員一人ひとりの参加意欲の向上に努めた。

(3) 職員専用Webページを通じて業・財務改革の実施状況や理事会等の内容を公開することにより法人運営の見える化を推進した。

Ⅲ サービスの質の向上

1 サービス向上委員会

(1) 利用者満足度調査

実施期間	令和4年10月1日～10月31日
配布数	サービス利用者 846人
回答数	747人(88.3%)
無効回答数	99人(11.7%)

2 苦情解決委員会

苦情解決委員会は、例年どおり年3回に開催し、利用者から寄せられた苦情・要望等の内容及び改善策等の報告を行い、委員から業務改善や再発防止のための有益な助言、提案等をいただいた。

今年度、ご意見箱等に寄せられた苦情・要望等の申出件数は、苦情が17件、要望が6件の計23件で、前年度（苦情14件、要望15件 計29件）と比較し6件少なかったが、複数の所属にまたがって改善策を検討する案件が増えた。

保険証の確認や窓口支払い、リハ前診察待ち時間等が長いことや入所前オリエンテーションや入所申請書の書き方、検査時の説明不足等、窓口対応に対する苦情が寄せられた。また、入所者の衣類管理や短期入所利用における職員の対応に対する苦情が寄せられた。これらの苦情を受けて各部署と事務局間で対応を協議し、対応マニュアル等の作成や職員一人ひとりの接遇に対する意識の向上に取り組み、改善に努めた。

要望では、設置型の体温計や手指消毒剤の玄関付近への設置等、環境整備に関するものであった。

なお、従来、入所施設の面会日に合わせて開催していた第三者委員による苦情・要望相談は、新型コロナウイルス感染防止のため、面会日が中止になったことから今年度も開催を見送った。

① 第1回苦情解決委員会

開催日	令和4年 7月 1日(金)
報告事項	苦情申出報告 4件 要望申出報告 2件

② 第2回苦情解決委員会

開催日	令和4年11月 4日(金)
報告事項	苦情申出報告 8件 要望申出報告 3件

③ 第3回苦情解決委員会

開催日	令和5年 2月 3日(金)
報告事項	苦情申出報告 5件 要望申出報告 1件

3 カイゼン提案運動

すべての職員が、各部門における日々の業務を見直し、福祉・医療現場としての特性を踏まえたカイゼン提案を実施することで、職員の法人運営に対する参加意識を深めるとともに、働き方改革を推進することを目的として、平成30年度からカイゼン提案運動を実施している。

令和4年度は、各部署から12件の提案があり、感染対策に関することや業務効率に伴う環境整備、インシデントになりやすい事項を防ぐカイゼン提案等が寄せられた。サービス向上委員会において審査を行い10件が認定された。その中から、委員の投票に基づき、下記のとおり最優秀賞、優秀賞各1団体を決定し、報奨金を授与した。

〔最優秀賞〕

「クロッシオンによる時間外勤務や年次有給休暇等の申請」

提案者 総務課（工藤真緒 氏）

改善内容 導入以前は、各職員が年休簿やフレックスタイム届出書に記入し、所属長の確認後、総務課の係（給与係、庶務係、総務課長）が確認していた。その後、給与係はExcelや給与ソフトに手入力し、庶務係は、年度代わりに行う年休の引継ぎにかなりの時間を要していた。導入後は、職員自身が時間外や年休の申請を行うことでこれまでより正確な情報が把握できるようになった。これまで給与係が行っていた手入力や計算作業等が不要になり、業務の効率に繋がった。職員からも勤務管理ができるようになったとの声があがっている。

〔優秀賞〕

「他科受診の体制の変更」

提案者 めじろ園（山口裕子 氏）

改善内容 利用者の他科受診は延べ45回あり、管理車を使って付き添い看護師2名のスタッフが必要である。職員の休職、欠員、退職の上体調に配慮の必要なスタッフも多く常に人員不足の現状では厳しい状況である。緊急時以外の利用者の送迎は福祉タクシーを利用する。また、定期受診の利用者は重度訪問サービスや行動援護の福祉サービスを利用しヘルパーの付き添い代行を利用する。タクシーは「別府市重度障がい者タクシー利用券」を利用する。別府市以外の方も診断書を提出し申請することにより利用を開始した。その結果、他科受診に要した人員が削減できた。

4 安全管理対策強化期間の取り組み

過去に経験した事件・事故を教訓とし、安全で安心な、そして利用者さんに信頼される

療育を提供するために、職員全員でセンター全体の安全環境整備に取り組み、安全管理に対する意識を高めることを目的として安全管理対策等強化期間を次のとおり実施した。

(1) 実施期間

令和4年6月9日（木）から7月4日（月）

(2) 研修内容

- ① センター長の訓示及び「医療安全に関する講話」
- ② 令和3年度インシデント報告書のまとめ 医療安全管理者

月日	時間	研修方法	研修内容	講師及び指導者	場所	参加人数
6月8日（水）	17:15～	訓示及び講話	① ②	福永センター長 医療安全管理者	会議室	222名 100%
6月11日（火） ～ 7月4日（木）	業務終了時間	DVD ・部署毎に設定	① ②	福永センター長 医療安全管理者	会議室 各部署	

今年度は、職員の密を避けるため、会場には各部署の代表のみとし、ZOOMによるオンライン研修で行った。時間の関係でZOOMによる視聴ができない職員は、後日研修動画による共有フォルダから視聴する研修を実施した。研修動画の視聴も含め参加率100%を達成することができた。

(3) 各部署の取り組み

① 地域支援センターほっと・外来と合同緊急シミュレーション

ほっと建替えと外来の救急カートの設置に伴い、安全管理強化期間の取り組みの一環として実施した。

② 医療安全管理者より「誤薬について」の研修

各病棟の内服介助を実施する職員を対象に、インシデント報告書の内容から確認していただきたい事柄を研修動画用に作成した。視聴期間を設け研修動画を視聴していただいた。

5 インシデント報告書・事故報告書

安全推進専門部会に参加し、提出されたインシデント報告書について委員会メンバーと検証を行った。令和4年度のインシデント報告書は年間527件で、前年度より56件の増が見られた。事故報告書は年間2件（骨折）だった。いずれも医療等安全委員会において報告し、対応策を協議した。

なお、インシデント報告書については、作成方法の見直しを行いPCでの入力を実施することとしたが、当初繰り返し不具合が発生したため、新任職員向けに操作研修を行った。

6 医療安全管理者によるその他活動内容

(1) 第2回 医療安全研修

「2022 年度リスクマネージャー交流会」伝達講習（動画研修）

講 師 めじろ園看護師 中條奈穂美氏

対 象 全職員

(2) 安全推進だよりの発行（年間4回発行）

安全推進だよりにて、新型コロナウイルス感染症予防やインシデント報告等の話題、「医療安全推進週間」のお知らせを職員向けに広報し医療安全の意識付けの啓発を行った。

IV 主たる事業の概要

1 別府整肢園

令和4年度の事業計画に基づき、以下の事業を行った。

医療型障害児入所施設・療養介護事業所（定員合計 60 名）、在宅支援診療事業（外来）
医科・歯科
（総括）

入所部門では令和3年度の入所者の骨折事故発生を受け、研修会を通じて利用者の身体的特徴や安全なポジショニング技術を習得し、床走行リフトや体位変換備品の導入による安心・安全な看護・介護サービスの提供に努め、事故発生を防いだ。

また新型コロナウイルス感染防止のため、前年度に続き事業の制限や中止、感染対策を行いながらの事業実施となったが、夏の第7波では入所者が濃厚接触者となり、冬の第8波では入所者が陽性となったため、それぞれ新規入所を停止するなど事業を大幅に縮小したことが収入に大きく影響した。

非常勤の小児整形外科医が1名着任し、外来診療、手術、入所児の治療を行い、若干ではあるが整形外科の体制が強化された。

（1）事業の状況

- ① 医療型障害児入所施設・療養介護事業所（定員合計 60 名）
1 日平均入所者数 33.6 名（前年比 94%）、受入可能数に対する稼働率 93%、
当初計画に対する達成率 95%
- ② 在宅支援診療事業（外来）医科
1 日平均通院数 48.7 名（前年比 102%）
当初計画に対する達成率 99%
- ③ 在宅支援診療事業（外来）歯科
1 日平均通院数 6.1 名（前年比 92%）
当初計画に対する達成率 92%
- ④ 短期入所事業（空床型）、日中一時支援事業
新型コロナウイルス感染防止対策のため、実績なし。

（2）収支決算

収入の増減はなかったが減価償却費等の電子カルテ関係の支出増により、サービス活動増減差額は△118,985 千円（対前年 24,809 千円減）、当期活動増減差額△117,611 千円（対前年 49,501 千円減、法人内資金移動除く）となった。

（3）主な施設・機器等の整備

- ① 床走行式リフト 530 千円

2 めじろ園

令和4年度の事業計画に基づき、以下の事業を行った。

療養介護事業所・医療型障害児入所施設（定員合計 60 名）

（総括）

新型コロナウイルス感染防止のため、事業の制限や中止、感染対策を行いながら事業実施したが、夏の第7波、冬の第8波にそれぞれクラスターが発生し、多数の入所者と職員が陽性者となった。

- ・ 第7波陽性者 合計 56 名（入所者 34 名、職員 22 名）
- ・ 第8波陽性者 合計 38 名（入所者 23 名、職員 15 名）

感染防止対策のため大人数での療育活動ができなかったが、少人数で楽しめるように工夫し行事を行った。また県内の感染状況が下火になった時期を見計らって外出をするなど、療育活動の充実に努めた。

（1）事業の状況

① 医療型障害児入所施設・療養介護事業所（定員合計 60 名）

1 日平均入所者数 59.3 名（前年比 101%）、定員に対する稼働率 99%、当初計画に対する達成率 101%

② 短期入所事業（空床型）、日中一時支援事業

新型コロナウイルス感染防止対策のため、実績なし。

（2）収支決算

クラスターによる増収及び支出増により、サービス活動増減差額は 137,488 千円（対前年 3,954 千円減）、当期活動増減差額 138,050 千円（対前年 3,480 千円減、法人内資金移動除く）となった。

（3）主な施設・機器等の整備

- ① 超音波画像診断装置 6,930 千円
- ② 床走行式リフト 900 千円

3 ひばり園

令和4年度の事業計画に基づき、以下の事業を行った。

児童発達支援センター（福祉型）（定員 16 名）、保育所等訪問支援事業

（総括）

在籍職員 3 名が産休・育休取得したため定員を 24 名から 16 名へ減員したこと、またクラスターが発生した部署への応援のため一時的に事業を停止・縮小したことにより、利用者総数は対前年で大幅に減少した。

一方、園児の成長に合わせた親講座や個別相談を 42 回（参加者延べ 278 名）、親子通園の特徴を生かして家族支援に重点を置いた取り組みを行った。

(1) 利用状況

① 児童発達支援センター（福祉型）（定員 16 名）

1 日平均利用者数 11.4 名（前年比 73%）、定員に対する稼働率 71%、
当初計画に対する達成率 71%

② 保育所等訪問支援事業

年間件数 98 件（対前年 117%）、当初計画に対する達成率 91%

(2) 収支決算

通園児童数の減少により大きな減収となり、サービス活動増減差額は△14,541 千円（対前年 10,587 千円減）、当期活動増減差額△14,709 千円（対前年 11,334 千円減、法人内資金移動除く）となった。

(3) 主な施設・機器等の整備

送迎用車両 1 台 2,930 千円（うち公益補助 1,000 千円）

4 地域支援センターほっと

令和 4 年度の事業計画に基づき、以下の事業を行った。

生活介護事業（定員 20 名）、放課後等デイサービス事業（定員 10 名）、保育所等訪問支援事業、居宅介護事業、重度訪問介護事業、行動援護事業、移動支援事業、日中一時支援事業

（総括）

令和 4 年度は新築建物での事業実施となり、改築工事期間中に利用の減っていた生活介護事業と放課後等デイサービス事業の利用者増に取り組んだが、いずれの事業も利用者の新型コロナ陽性による事業停止があり当初の利用計画は未達であった。

・生活介護事業 合計 4 日間停止

・放課後等デイサービス事業 合計 8 日間停止

コロナ禍における職員の職務意欲の向上のため、オンライン研修への参加を促進し、ほっと全職員が受講することができた。習得した知識を実際の支援に活用できていないため、次年度はカンファレンスを開催し活用について検討する。

なお、保育所等訪問支援事業について令和 5 年度より廃止し、ひばり園に一元化することとした。

(1) 利用状況

① 生活介護事業（定員 20 名）

1 日平均利用者数 15.4 名（前年比 99%）、定員に対する稼働率 77%、
当初計画に対する達成率 91%

② 放課後等デイサービス事業（定員 10 名）

1 日平均利用者数 7.5 名（前年比 109%）、定員に対する稼働率 75%、

当初計画に対する達成率 94%

③ 保育所等訪問支援事業

年間件数 65 件（前年比 94%）、当初計画に対する達成率 76%

④ 居宅介護・重度訪問介護事業

年間時間数 1,632 時間（前年比 105%）

⑤ 行動援護事業

年間時間数 1,979 時間（前年比 108%）

⑥ 移動支援事業

年間時間数 468.5 時間（前年比 76%）

⑦ 日中一時支援事業

年間時間数 74 時間（前年比 61%）

（2）収支決算

新築建物の減価償却費計上による支出増により、サービス活動増減差額は△31,228 千円（対前年 19,151 千円減）、当期活動増減差額△112,167 千円（対前年 79,233 千円減、法人内資金移動除く）となった。

（3）主な施設・機器等の整備

なし

5 地域療育連携室

令和4年度の事業計画に基づき、以下の事業を行った。

障がい児等地域療育等支援事業、別府市障害者相談支援事業等市町村委託事業、指定特定・障害児相談支援事業、大分県医療的ケア児支援センター（総括）

令和3年の医療的ケア児支援法成立・施行に伴い、大分県より医療的ケア児支援センターを受託し、医療的ケア児とその家族、その他関係者に対して専門的な相談に応じ、情報提供や助言等の支援を行った（相談等件数51件）。なお、当該支援センターのあり方について県と協議を続けた結果、令和5年度より県直営となったため、今後は運営への協力、相談業務の支援等を継続することとなった。

また地域療育連携室は別府市の基幹相談支援センターの役割を担っており、徐々に障がい者の相談件数が増加している（令和4年度203件、前年比133%）。1件の相談につき何度も対応が必要になることや関係機関との調整も多いため、オンライン研修等を活用し職員の対応力向上に取り組んだ。

（1）利用状況等

① 障がい児等地域療育等支援事業

年間件数 2,058 件（前年比 106%）、県・市予算に対する執行率 80%、当初計画に対する達成率 66%

② 別府市障害者相談支援事業等市町村委託事業

市町村予算に対する執行率 100%、当初計画に対する達成率 100%

③ 指定特定・障害児相談支援事業

年間件数 930 件（前年比 91%）、当初計画に対する達成率 93%

（2）収支決算

大分県医療的ケア児支援センター受託による増収、人件費の減額による支出減により、サービス活動増減差額は 1,343 千円（対前年 7,042 千円増）、当期活動増減差額 1,824 千円（対前年 7,261 千円増、法人内資金移動除く）となった。

（3）主な施設・機器等の整備

なし

6 大分療育センター

令和 4 年度の事業計画に基づき、以下の事業を行った。

在宅支援診療事業（医科・歯科）：大分療育クリニック、児童発達支援センター（福祉型）（定員 16 名）・保育所等訪問支援事業：こじか園、生活介護事業（定員 15 名）：りんく（総括）

新型コロナウイルス感染防止対策として患者・利用者への問診や消毒等の徹底、職員の感染防止を継続し、安定した事業運営と増収に努めたが受診・利用キャンセルの増加により大分療育センターいずれの事業も対前年で同程度の利用者数であった。

また令和 4 年度より経営改善を視野に幹部職員を中心に定期的に将来構想の検討会を開始し、大分療育センターや法人全体に関わる課題を把握・共有した。次年度も引き続き検討会を開催する。

（1）利用状況等

① 大分療育クリニック（医科）

1 日平均通院数 87.1 名（前年比 95%）

当初計画に対する達成率 99%

② 大分療育クリニック（歯科）

1 日平均通院数 16.1 名（前年比 96%）

当初計画に対する達成率 134%

③ こじか園：児童発達支援センター（福祉型）（定員 16 名）

1 日平均利用者数 12.2 名（前年比 98%）、定員に対する稼働率 76%、

当初計画に対する達成率 94%

④ こじか園：保育所等訪問支援事業

年間件数 12 件（対前年 57%）、当初計画に対する達成率 50%

⑤ りんく：生活介護事業（定員 15 名）

1 日平均利用者数 7.6 名（前年比 100%）、定員に対する稼働率 51%、

当初計画に対する達成率 99%

(2) 収支決算

大分療育クリニックは精神科・歯科の患者数減による減収により、サービス活動増減差額は△25,765 千円（対前年 2,434 千円減）、当期活動増減差額△25,120 千円（対前年 1,895 千円減、法人内資金移動除く）となった。

こじか園は収支ともに前年と変わりなく、サービス活動増減差額は△2,788 千円（対前年 524 千円減）、当期活動増減差額△2,493 千円（対前年 266 千円減、法人内資金移動除く）となった。

りんくは人件費の減額を含む支出減により、サービス活動増減差額は△12,862 千円（対前年 3,009 千円増）、当期活動増減差額△12,832 千円（対前年 3,040 千円減、法人内資金移動除く、）となった。

以上より、大分療育センター全体ではサービス活動増減差額は△41,414 千円（対前年 51 千円減）、当期活動増減差額△40,444 千円（対前年 879 千円減、法人内資金移動除く）となった。

(3) 主な施設・機器等の整備

- ① 送迎用福祉車両 1 台（りんく） 3,448 千円

7 施設内保育所つばめ保育園

令和 4 年度の事業計画に基づき、以下の事業を行った。

企業主導型保育事業

（総括）

上半期の利用者が月平均 5.2 名と少なかったことから、12 月より利用料金を減額し、利便性について職員に広く周知するとともに別府市や自治会等を通じて地域枠を募集した結果、12 月以降の利用者は月平均 9.8 名であった。

また、令和 4 年度 6 月から一時預かり事業を開始し、延べ 57 名の利用があった。

(1) 利用状況等

③ 企業主導型保育事業（定員 12 名）

1 日平均利用者数 6.5 名（前年比 73%）、定員に対する稼働率 54%、

当初計画に対する達成率 72%

(2) 収支決算

サービス活動増減差額は△8,027 千円（対前年 3,322 千円減）、当期活動増減差額△8,229 千円（対前年 3,117 千円減、法人内資金移動除く、）となった。

(3) 主な施設・機器等の整備

なし

8 地域貢献事業

令和4年度のおもちゃの貸し出し事業（おもちゃ図書館もくば）は、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止したが、就学児の学習支援事業（つるみほっこり村）は県内の感染状況に応じて活動を再開した。

- ・つるみほっこり村 年7回開講、参加児童数延べ39名

V 職員研修の状況

(1) 一般研修

① 新任職員研修

対象者：令和4年度新採用及び採用後未受講職員

・前期

日程及び内容：4月13日 接遇研修

講師：有限会社ファニーフェイス 本多 寿子 氏

4月13日～15日（3日間）講義形式の研修、グループ討議等

受講者数 13人／14人中

・中期

日程及び内容：7月1日から7月20日、9月1日から10月31日

各施設の現場体験実習

受講者数 11人／13人中（再雇用職員は除く）

・後期

日程及び内容：3月10日 グループ討議及び発表

受講者数 10人／13人中（再雇用職員は除く）

② 中堅職員研修

日程及び内容：11月22日 講義

講義：「コミュニケーションスキルの向上」

講師：有限会社ファニーフェイス 代表取締役 山村美穂子 氏

対象者：勤続年数5～10年未満の職員

受講者数 15人／16人中

③ 監督者研修

講義：「災害時危機管理～災害に対応できる施設の在り方～」

講師：NPO法人さくらネット 代表理事 石井布紀子 氏

日程及び内容：令和5年1月27日 講義

対象者：課長及び課長補佐、係長及び主任級職員

受講者：40人／40人中

※当日受講できなかった職員は、研修動画を視聴

日程及び内容：令和5年2月28日 講義

講義：「災害時危機管理～災害に対応できる施設の在り方 ～法人の災害対応BCPについて～」

講師：NPO法人さくらネット 代表理事 石井布紀子 氏

受講者：23人／23人中

※当日受講できなかった職員は、研修動画を視聴

(2) 特別研修

① 日程及び内容：令和4年6月6日～7月24日 動画研修

講義：「令和3年度 大分県障がい者虐待防止・権利擁護研修」伝達講習

講師：別府整肢園 課長補佐 宮本真美 氏

対象者：全職員

② 日程及び内容：令和5年2月7日 講義

講義：「障害者虐待について～事例を踏まえて～」

講師：社会福祉法人 一燈園 障がい者相談支援センター 加藤智恵美 氏

対象者：全職員

※当日受講できなかった職員は、研修動画を視聴

VI 補助事業の状況

(1) 施設設備整備

- | | |
|---------|---|
| ① 事業名 | 人材確保等支援助成金（介護福祉機器助成コース／機器導入助成）（補助主体：国） |
| ② 事業内容 | 地域支援センターほっと 介護リフトシステム導入 |
| ③ 事業費 | 総事業費 15,300,000円
(内訳)
補助対象経費 8,317,100円
補助金額 1,500,000円
自己負担額 13,800,000円 |
| ④ 完了年月日 | 令和4年5月31日 |

(2) 施設等整備

- | | |
|--------|---|
| ① 事業名 | 2021年度社会福祉法人助成事業（※令和4年度に事業を繰越）（補助主体：社会福祉法人清水基金） |
| ② 事業内容 | 別府整肢園床改修工事 |

③ 事業費	総事業費	1,166,000円
	(内訳)	
	補助対象経費	1,166,000円
	補助金額	800,000円
	自己負担額	366,000円
④ 完了年月日	令和4年6月10日	

(3) 車両整備

① 事業名	2022年度福祉避難所の機器整備助成事業（補助主体：日本財団）	
② 事業内容	福祉避難所 電気自動車の購入	
③ 事業費	総事業費	3,938,360円
	(内訳)	
	補助対象経費	3,938,360円
	補助金額	1,960,000円
	自己負担額	1,978,360円
④ 完了年月日	令和5年1月26日	

(4) 車両整備

① 事業名	令和4年度施設整備等助成事業（補助主体：公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団）	
② 事業内容	ひばり園送迎用車両の購入	
③ 事業費	総事業費	3,140,000円
	(内訳)	
	補助対象経費	3,140,000円
	補助金額	1,000,000円
	自己負担額	2,140,000円
④ 完了年月日	令和5年1月30日	

(5) 設備整備

① 事業名	オンライン資格確認等の導入に必要な資格確認端末の購入等に係る補助事業（補助主体：社会保険診療報酬支払基金）	
② 事業内容	診療報酬請求システムの改修及びネットワーク設定	
③ 受領施設	別府発達医療センター・大分療育クリニック（医療機関）	
④ 事業費	総事業費	3,889,600円

(内訳)

補助対象経費	3,889,600円
補助金額	3,289,000円
自己負担額	600,600円

⑤ 完了年月日 令和5年3月30日

(6) 設備整備

① 事業名	省エネ施設整備補助事業（補助主体：大分県）
② 事業内容	LED照明導入工事
③ 受領施設	別府整肢園・めじろ園・大分療育センター
④ 事業費	総事業費 3,300,000円

(内訳)

補助対象経費	3,300,000円
補助金額	2,250,000円
自己負担額	1,050,000円

⑤ 完了年月日 令和5年3月31日

Ⅶ 個別事業の実績

【別府センター】

1 診療部門

(1) 標榜科

	年度	H30	R元	R2	R3	R4	対前年比
整形外科	診療日数(日)	270	268	270	271	268	△ 3
	新患(人)	303	247	218	402	151	△ 251
	再来(人)	2,504	2,589	2,080	2,380	1,274	△ 1,106
	合計(人)	2,807	2,836	2,298	2,782	1,425	△ 1,357
	1日平均(人)	10.4	10.6	8.5	10.3	5.3	△ 5.0
(側わん掲)	診療日数(日)	24	23	24	24	24	0
	新患(人)	36	20	14	22	13	△ 9
	再来(人)	135	124	82	87	63	△ 24
	合計(人)	171	144	96	109	76	△ 33
	1日平均(人)	7.1	6.3	4.0	4.5	3.2	△ 1.3
リハ科	新患(人)	91	96	65	23	119	96
	再来(人)	9,234	9,327	7,259	7,596	9,181	1,585
	合計(人)	9,325	9,423	7,324	7,619	9,300	1,681
	1日平均(人)	34.5	35.2	27.1	28.1	34.7	6.6
小児科	新患(人)	131	155	204	230	199	△ 31.0
	再来(人)	2,054	2,080	2,669	2,551	1,304	△ 1,247.0
	合計(人)	2,185	2,235	2,873	2,781	1,503	△ 1,278.0
	1日平均(人)	8.1	8.3	10.6	10.3	5.6	△ 4.7
麻酔科	新患(人)	19	21	24	27	22	△ 5
	再来(人)	35	60	54	49	20	△ 29
	合計(人)	54	81	78	76	42	△ 34
	1日平均(人)	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	△ 0.1
耳鼻咽喉科	診療日数(日)	45	48	40	48	48	0
	新患(人)	23	32	13	34	21	△ 13
	再来(人)	252	269	218	235	260	25
	合計(人)	275	301	231	269	281	12
	1日平均(人)	6.1	6.3	5.8	5.6	5.9	0.3
その他	新患(人)	0	2	9	45	76	31.0
	再来(人)	0	30	52	110	390	280.0
	合計(人)	0	32	61	155	466	311.0
	1日平均(人)	0.0	0.9	2.3	5.5	13.4	7.9
歯科	診療日数(日)	82	84	91	101	91	△ 10
	新患(人)	151	185	145	113	124	11
	再来(人)	599	466	643	550	432	△ 118
	合計(人)	750	651	788	663	556	△ 107
	1日平均(人)	9.1	7.8	8.7	6.6	6.1	△ 0.5

2 入園部門

(1) 別府整肢園 (定員60人)

① 入所者数

単位: 人

年度	H30	R元	R2	R3	R4	対前年度
前年度から継続	42	43	43	31	37	6
入園	138	153	125	153	119	△ 34
退園	138	154	124	154	117	△ 37
延在籍人員	17,364	15,960	15,298	12,941	12,249	△ 692
一日平均在籍	47.6	42.8	41.9	35.5	33.6	△ 1.9

② 就学状況

単位: 人

年度	H30	R元	R2	R3	R4	対前年度
小学部	28	19	14	11	9	△ 2
中学部	6	7	15	8	4	△ 4
高等部	9	11	10	7	7	0
合計	43	37	39	26	20	△ 6

③ 短期入所等(空床利用)

単位: 人

年度	H30	R元	R2	R3	R4	対前年度
延べ件数 (件)	136	119	10	0	0	0
延べ日数 (日)	298	358	16	0	0	0
日中一時支援 (日)	0	0	0	0	0	0

(2) めじろ園 (定員60人)

① 入所者数

単位: 人

年度	H30	R元	R2	R3	R4	対前年度
前年度から継続	56	58	59	59	60	1
入園	5	7	7	7	8	1
退園	3	6	7	6	10	4
延在籍人員	20,983	21,516	21,532	21,492	21,650	158
一日平均在籍	57.5	58.9	58.8	58.9	59.3	0.4

② 就学状況

単位: 人

年度	H30	R元	R2	R3	R4	対前年度
小学部	3	2	1	1	1	0
中学部	0	0	2	2	2	0
高等部	3	4	2	1	0	△ 1
合計	6	6	5	4	3	△ 1

③ 短期入所等(空床利用)

単位: 人

年度	H30	R元	R2	R3	R4	対前年度
延べ件数	108	90	66	0	3	3
延べ日数 (日)	534	381	179	0	40	40
日中一時支援 (日)	1	8	7	0	0	0

3 通園部門

ひばり園 (定員24人)

(単位:人)

年度	H30	R元	R2	R3	R4	対前年度
継続児数	33	33	32	32	27	△ 5
入園児数	19	17	10	18	14	△ 4
退園児数	19	21	19	22	17	△ 5
年間利用者数	52	51	53	50	41	△ 9
延利用者数	3,784	3,757	4,043	3,875	2,844	△ 1,031
一日平均	14.9	15.2	16.0	15.6	11.4	△ 4.2

4 地域支援センターほっと

年度	H30	R元	R2	R3	R4	対前年度	単位
生活介護	登録者数	48	48	43	43	41	△ 2 人
	延利用者数	4,535	4,295	3,855	3,763	3,632	△ 131 人
	一日平均	18.4	17.9	15.9	15.6	15.4	△ 0.2 人
放課後等デイサービス	登録者数	20	19	18	15	19	4 人
	延利用者数	1,956	1,942	1,699	1,665	1,740	75 人
	一日平均	8.1	8.1	7.0	6.9	7.5	1 人
保育所等訪問支援事業	登録者数	7	6	20	15	24	9 人
	延利用者数	14.0	42.0	52.0	69.0	65.0	△ 4 人
居宅介護	登録者数	24	21	16	14	25	11 人
	延利用時間数	1,507	1,321	1,272	1,244	1,206	△ 38.0 時間
重度訪問介護	登録者数	12	13	13	13	20	7 人
	延利用時間数	675	538	251	310	426	116 時間
行動援護	登録者数	19	16	15	13	17	4 人
	延利用時間数	3,000	3,026	2,227	1,824	1,979	154.5 時間
日中一時支援(ショートステイ)	登録者数	8	8	7	7	7	0 人
	延利用者数	262	270	128	121	74	△ 47 人
個別移動支援	登録者数	22	23	17	15	15	0 人
	延利用時間数	1,165.0	1,098.0	1,145.0	613.5	468.5	△ 145 時間
ほっとサービス	登録者数	4	4	3	3	4	1 人
	延利用者数	235	231	223	241	198	△ 43 人

※4月1日時点の登録者数

5 地域療育関連主要事業

(単位:件)

年度			H30	R元	R2	R3	R4	対前年度
大分 県分	訪問療育等	巡回相談	241	225	184	125	152	27
		訪問援助	27	68	135	74	87	13
		計	268	293	319	199	239	40
	外来療育等	保育	1,301	1,382	681	533	362	△ 171
		SW等	12	1	7	0	0	0
		その他	175	95	10	7	2	△ 5
		計	1,488	1,478	698	540	364	△ 176
	施設支援一般指導		97	20	11	4	7	3
施設支援専門指導		2	2	43	39	49	10	
別府市委託相談事業			3,047	3,260	3,411	4,747	4,464	△ 283
計 画 相 談	障害児計画相談支援		296	356	300	262	223	△ 39
	①サービス利用支援		120	123	116	79	74	△ 5
	②継続利用支援		176	233	184	183	149	△ 34
	障害者計画相談		276	372	405	311	282	△ 29
	①サービス利用支援		122	124	148	80	71	△ 9
	②継続利用支援		154	248	257	231	211	△ 20

【大分センター】

6 外来診療部門

診療科	年度	H30	R元	R2	R3	R4	対前年比
リハ科	診療日数(日)	249	247	246	247	246	△ 1
	新患(人)	52	82	110	167	144	△ 23
	再来(人)	14,848	16,166	16,491	16,292	16,549	257
	合計(人)	14,900	16,248	16,601	16,459	16,693	234
	1日平均(人)	59.8	65.8	67.5	66.6	67.9	1
精神科	診療日数(日)	249	247	246	247	246	△ 1
	新患(人)	298	227	240	261	185	△ 76
	再来(人)	3,549	4,780	4,181	4,797	4,672	△ 125
	合計(人)	3,847	5,007	4,421	5,058	4,857	△ 201
	1日平均(人)	15.4	20.3	18.0	21.5	19.7	△ 2
小児科	診療日数(日)	0	0	6	29	49	20
	新患(人)	0	0	4	22	41	19
	再来(人)	0	0	5	22	89	67
	合計(人)	0	0	9	73	179	106
	1日平均(人)	0.0	0.0	1.5	2.5	3.7	1
歯科	診療日数(日)	190	182	172	182	180	△ 2
	新患(人)	756	692	636	756	751	△ 5
	再来(人)	1,849	2,201	2,204	2,118	1,973	△ 145
	合計(人)	2,795	3,075	3,012	3,056	2,904	△ 152
	1日平均(人)	14.7	16.9	17.5	16.8	16.1	△ 1
	鎮静法下治療延数	221	304	321	338	394	56
(内リハ)	理学療法(単位)	16,091	16,976	17,406	16,589	16,535	△ 54
	作業療法(単位)	19,943	21,012	21,730	21,567	20,851	△ 716
	言語聴覚療法(単位)	15,611	15,930	18,794	17,368	18,777	1,409

*小児科については平成29年3月31日付け標榜廃止

*小児科については令和2年4月1日付け標榜開始

7 通園部門

(1) こじか園 (定員20人、R5.1月からは12人)

(単位:人)

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	対前年度
継続児数	38	39	26	29	37	37	33	△ 4
入園児数	19	16	29	25	22	26	21	△ 5
退園児数	18	28	26	17	23	23	30	7
登録者数	54	49	55	54	59	63	54	△ 9
延利用者数	3,569	3,386	3,648	3,213	3,757	3,054	2,952	△ 102
一日平均	14.7	13.9	14.8	13.2	15.5	12.5	12.2	△ 0.3

*平成24年度からは福祉型児童発達支援センターへ移行

(2) りんく (定員20人)

(単位:人)

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	対前年度
生活介護	登録者数	20	20	20	19	18	18	0
	延利用者数	2,263	2,359	2,405	2,406	2,164	1,834	19
	一日平均	9.2	9.6	9.7	9.8	8.8	7.6	0
放課後デイサービス	登録者数	11	11	0	0	0	0	0
	延利用者数	115	15	0	0	0	0	0
	一日平均	1.6	1	0	0	0	0	0

平成29年6月30日付で放課後デイサービスは休止

8 地域療育関連主要事業

(単位:件)

年度			H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	対前年度
大分市分	訪問療育等	巡回相談	104	137	146	133	135	87	140	53
		訪問援助	575	503	553	581	364	207	377	170
		計	679	640	699	714	499	294	517	223
	外来療育等	保育	1,431	1,328	1,070	1,434	590	823	836	13
		SW等	64	19	1	0	0	0	0	0
		その他	176	268	59	65	3	11	3	△ 8
		計	1,671	1,615	1,130	1,499	593	834	839	5
	施設支援一般指導		28	35	28	24	32	32	43	11
佐伯市メディカルサポート		3	2	8	0	0	0	2	2	
発達障害児巡回専門員派遣事業		6	14	9	10	17	10	9	△ 1	
計画相談	障害児計画相談支援		433	403	388	418	438	435	411	△ 24
	①サービス利用支援		206	197	181	195	189	176	181	5
	②継続利用支援		227	206	207	223	249	259	230	△ 29
	障害者計画相談		8	4	13	18	28	15	14	△ 1
	①サービス利用支援		5	2	9	7	9	5	4	△ 1
	②継続利用支援		3	2	4	11	19	10	10	0

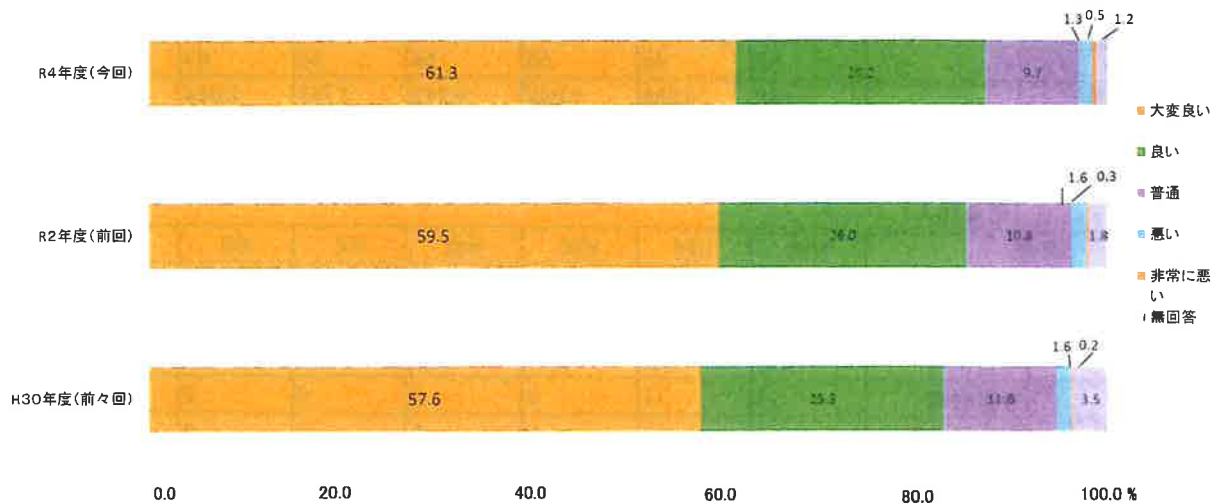
9 ソーシャルスキルトレーニング

(単位:人)

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	対前年度
延利用者数	23	0	0	0	0	0	0	0

利用者満足度調査集計結果(過去3回分の推移)

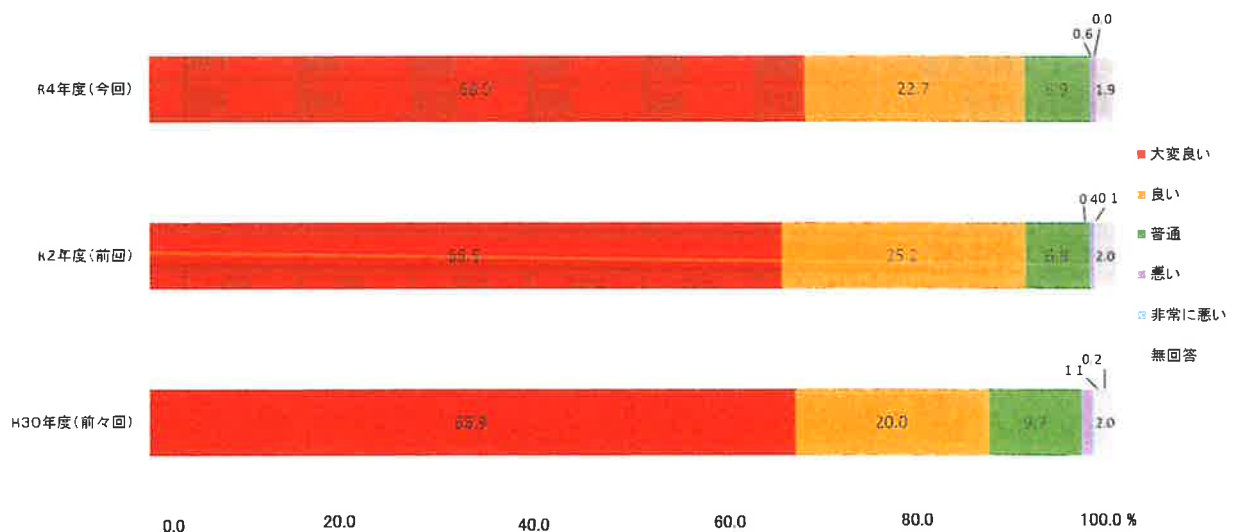
別府発達医療センター



(単位: %)

実施年度	回収率	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答
R4年度(今回)	84.4	61.3	26.2	9.7	1.3	0.5	1.2
R2年度(前回)	83.8	59.5	26.0	10.8	1.6	0.3	1.8
H30年度(前々回)	75.9	57.6	25.3	11.6	1.6	0.2	3.5

大分療育センター



(単位: %)

実施年度	回収率	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答
R4年度(今回)	92.5	68.0	22.7	6.9	0.6	0.0	1.9
R2年度(前回)	93.5	65.5	25.2	6.8	0.4	0.1	2.0
H30年度(前々回)	86.6	66.9	20.0	9.7	1.1	0.2	2.0